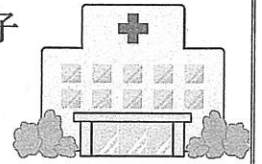




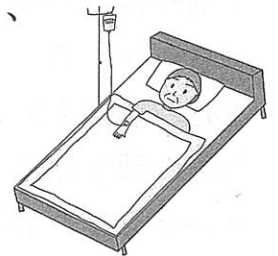
手術（人工股関節置換術） & リハビリ入院 体験記

石田 惇子



皆様、こんにちは。腰、膝などの痛みで悩んでいらっしゃいませんか？
長年の悩みを解消するために手術を選んだ記録です。ご参考までに。

8年位前に左の股関節の軟骨がすり減っている変形性股関節症と診断されました。近くのクリニックでリハビリをずっと受けてきましたが、改善するより加齢と共に軟骨の摩耗が早く進行する感じでした。昨年末より痛みが増し、この痛みが死ぬまで続くのは辛いので、手術をすれば痛みは取れると医師から説明を受けていたこともあり、手術に踏み切りました。



まず、手術前に様々な検査を受け、また色々な書類にサインしました。

その一つに 人工股関節置換術説明書があり、内容は・・・

・手技名：左人工股関節置換術 ・目的：人工の関節で表面置換し、股関節の痛みを軽減します。 ・方法：全身麻酔で行い、臀部外側の皮膚を約9cm切開して、変形した骨を切除し、カップと人口骨頭を挿入し人工股関節置換します。

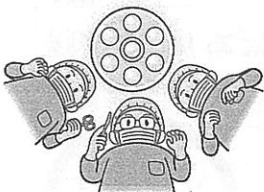
・手術に伴い予想される合併症：脱臼・・・等でした。

また、この病院には入院セットレンタル（パジャマ・バスタオル・フェイスタオル・リハビリセットとしてジャージ上下・Tシャツ）があり、入院経験者の助言により利用することにしました。

これは、手荷物が軽くなり子どもたちの負担も軽くなり、また洗濯の負担もなく、良かったと思います。

4月13日 午後1時に入院手続きを終えて、病室に入って最初にしたのはコロナの検査。次に、入院中の生活説明（朝6時：起床、7時半頃：朝食、12時：昼食、18時前：夕食、21時：消灯、面会時間：15時から20時 1家族2人で30分間、入浴）、手術前・後の説明と続けました。

13日の夜は疲れていたはずなのに、夜中に何度も目を覚まし、熟睡できませんでした。



4月15日（手術当日）は、絶食。手術開始時間が早まりましたが、発熱、凄い痛みもなく、手術も短時間で完了して、病室には3時頃戻ったらしい…。子供たちは手術結果の説明を受け、帰りました。

麻酔がまだ残っていたのか、それから夜中の1時過ぎまで爆睡。

何度か看護師が見回りに来て「1から10までの中で痛みはどの位ですか？」と尋ねられたらしいが、適当に答えていたらしい。また、度々血栓予防のため足首を上下に動かすこと、床ずれ予防で体位を変えるように言われました。